

教育活動全般の深化・拡充に向けて 「奄美少年自然の家」の利用はいかがでしょうか。

学習指導要領

☆何ができるようになるか☆
資質・能力の育成と学習評価の充実

☆何を学ぶか☆
資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

◇「社会に開かれた教育課程」の実現
◇各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

☆どのように学ぶか☆
「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程の改善

=資質・能力の三つの柱=

- ◇生きて働く**知識及び技能**の習得
- ◇未知の状況にも対応できる **思考力、判断力、表現力**等の育成
- ◇学びを人生や社会に生かそうとする**学びに向かう力、人間性**等の涵養

集団宿泊学習の教育的効果

自然体験や生活体験が「**主体的な学び**」の基盤となる「**自己肯定感**」を高める。

自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び。

集団宿泊学習が「よりよい人間関係を形成」し、「**対話的な学び**」ができる学級づくりにつながる。

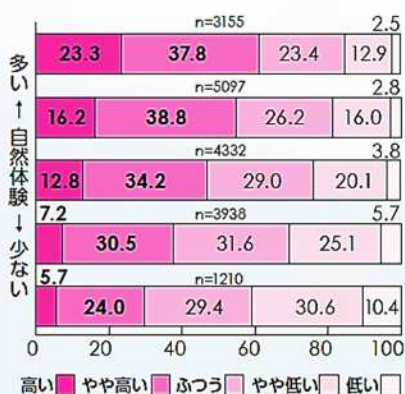
友だちとの協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考えを手掛かりに考えることなどを通じ、自己の考えを広げ深める学び。

実感を伴った理解は「**深い学び**」にもつながる。

『見方・考え方』を働かせ、知識を相互に関連付けて理解を深めたり、考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び。



自然体験と自己肯定感の関係



「青少年の体験活動等に関する実態調査」
平成 28 年 5 月 国立青少年教育振興機構

